



# 社団法人 日本助産師会 宮城県支部だより

## 第11号

平成17年8月18日発行

### 目次

1. (社)日本助産師会宮城県支部総会を終えて
2. お祝い
3. 全国総会参加記
4. 平成17年度第1回宮城県委託助産師研修会終了
5. お知らせ 研修会12/4 性教育後の報告書について 変更届けの提出 他  
編集後記

## 1. (社)日本助産師会宮城県支部総会を終えて

平成17年4月24日(日) 仙台ガーデンパレスにおいて開催されました。開会のことばにはじまり、物故会員黙祷、そしてご来賓祝辞は、社団法人宮城県看護協会会長・鈴木悦子先生、元宮城県県会議員・菊池文博先生、仙台市市議会議員・渡辺博先生に頂戴致しました。

ご来賓の先生方からは、助産師が現在置かれている立場からの、また、世界レベルでの妊産婦事情などから、力強いエールを頂戴しました。

その後は、功労者表彰、議長選出後、議事に入り、以下のことが承認されました。詳細をお知りになりたい方は、若干の予備資料がありますので、書記までご連絡下さい。

1. 議 事
  - (1) 平成16年度事業報告
  - (2) 決算報告
  - (3) 平成17年度事業計画
  - (4) 平成17年度予算計画
  - (5) 平成17年度役員・理事体制



## 平成17年度役員一覧

役職	氏名
支部長	新田双葉
副支部長	新田みつ子
副支部長	石川初枝
書記長	田村雪子
会計	伊藤朋子
教育部長	後藤美子
勤務部長	松田美由紀
開業部長	高津真理子
保健指導部長	佐藤ミツ子
会計監査	伊藤祝子
会計監査	生田目 サツ子
顧問	戸村たまよ

## 平成17年度理事一覧

役職	氏名
理事	青木喜美代
理事	小原京子
理事	大友れい
理事	笠松愛子
理事	本田由美
理事	伊藤祝子
理事	高橋あや子
理事	佐藤貞子
理事	石川初枝



午後の特別講演は、会員のみならず、宮城県下の助産師が集合しました。

### シンポジウム

#### これからの周産期医療と助産師の役割

コーディネーター

独立行政法人仙台医療センター附属

看護助産学科助産科 後藤 美子先生

シンポジスト

池野産婦人科院長

東北大学附属教授

栗原中央病院師長

池野 暢子先生

佐藤喜根子先生

石川 初枝先生



今、周産期医療が大きく変わろうとしています。このシンポジウムでは、三人のシンポジストにご講演を頂きました。塩釜で開業され、ソフロロジー式出産でご高名な、そして助産師と良い関係で意欲的に出産に取り組んでいらっしゃる池野暢子先生。次に、助産師教育の立場からのご発議を、佐藤喜根子先生から頂きました。今こそ産婆魂を呼び起こして、主体的に取り組むべきと、力強い言葉を頂きました。石川初枝先生からは、産科医がいなくなり、産科病棟が閉鎖した病院の助産師が、一歩踏み出して、地域の母子保健や思春期教育に関わっている報告に、助産師の多様性を感じました。

その後の質疑応答の時間では、院内助産院やオープンシステムへの質問や、助産師としての責任の所在など多くの質疑応答がされ、それぞれが助産師として、今やるべきことを自覚して帰路についたようです。

## 2. お祝い



(社)日本助産師会高齢者功労賞

藤田 たけ子 様

(社)日本助産師会高齢者功労賞

江刺 久子 様

平成17年(社)日本助産師会宮城県支部総会にて  
藤田たけ子様



佐藤 貞子様

(社)日本助産師会高齢者功労賞

阿部 敬子 様

厚生労働大臣賞

佐藤 貞子 様

助産師が大好きです。生涯現役でいたいと思っております。今後ともご厚誼のほど、よろしくお願いいたします。

おめでとうございます。

今回受賞されました、4人の先生は、戦後の動乱期に地域におかれて、子どもを見守り、また母のご家族の母子保健に貢献されて方々です。今後とも、よろしくお願い致します。

## 3. 全国総会参加記

支部長	新田双葉
代議員	田村雪子(代議員)
開業部	小山みね子



平成17年度全国総会に、上記3人で参加しました。場所は大分県別府です。

私的になりますが、新田、小山、田村とも、仕事+主婦+母+妻業を抱えての3泊4日間の旅行のため、朝4時からフル操業で仙台空港に向かいました。その時点でもうへとへとでした。仙台空港からおよそ2時間で福岡空港に到着します。その後、別府までの電車が長い、長い。お疲れ状態でしたが、別府に到着したとたん、別府の町並みと湯煙に疲れを忘れ、お湯にゆっくりと入りました。

もっとも、新田支部長は、前々日から会議、会議で寿司づめ状態とのことで、小山氏と、私が別府に到着したときは、私たちより疲れておりました。

次の日からは、総会です。代議員席に座らせて頂き、支部総会で決議された通りに挙手し、勇気を出して発言もして参りました。決議された内容は、8月7日の宮城県委託研修会で報告させて頂きました。

詳細は、本部発行の機関紙をご覧ください。本年は、役員改選があり、男性助産師導入問題、助産師会館の購入についてなど、活発な質疑応答がなされ、決議されております。

次の日は、助産師学会と続き、留守にしている家のことを考える余裕もない状態でした。

その夜はなんと奥ゆかしい湯布院に、小山氏と一泊し、次の日は半日ですが、観光めぐりをして帰ってきました。お陰様で何10年かぶりに独身気を満喫して参りました。母は留守でも、子どもは子どもなりに工夫して、夫は夫で、楽しんで留守を預かっていたようでした。たまたま主婦がいなくなるのもいいかもしれません。

来年は、お子さんが小さい人が参加されるのもいいかとお勧めします。



懇親会にて、近藤会長と共に

#### 4 . 平成17年度第1回宮城県委託助産師研修会終了



上記研修会は、8月7日(日)に、エルソーラ仙台大研修室で行われました。午前中は、『肉の好きな男とケーキの好きな女』と題し、新寺クリニック院長・佐藤和一先生のご講演でした。

佐藤先生は、スポーツドクター、産業医、ドーピングドクター等数多くのご経験をお持ちで、その中から、生命体の進化、人の進化と食、大脳皮質の発達と脳作用の分化 社会的規範の成立、現代社会と性差(ジェンダー) などをお話頂きました。その博学ぶりに、圧倒されながら勉強させて頂きました。佐藤先生は、『ラブ&SEX、この違いをどのように子どもに伝えていくか、理屈をいってもだめです。具体的に伝えることが大切です。また、理解しても納得しないと無駄です。』と、結んで下さいました。

LOVE  
アガペ - 無償の愛  
フィリア 地域・社会愛  
エロス  
こだけ強調されては  
いけない

午後は、『助産師のための個人情報保護法』と題し、宮城県総務部県政情報公開室主幹情報公開班長 武者光明先生のご講演でした。武者先生は昨年から、『個人情報保護法』のご講演でお忙しく、前日も出張講演だったとのことでした。

難しいタイトルをご熱心に、分かり易く説明して頂きました。私こと、法が出来てすぐ、本を購入して読みましたが、理解出来ずにおりました。感謝致すとともに、貴重な資料をご準備頂いたことに感謝しながら、3回読み直したいと思えます。

その後の開業部長・高津真理子氏は、開業部の活動報告とともに、開業助産師になって、いろいろな人との巡り愛から、自己達成感が得られ、他者からは、頼りにされ感謝される仕事である旨のご発表でまとめられ、参加者が我がことのように、盛大な拍手が起こり、活発な質疑応答になりました。



## 5. お知らせ

### (1) 平成17年度宮城県委託助産師研修会の日時変更について

上記は、講師の先生のご都合により、12月4日(土)となります。  
ご確認の程、よろしくお願い致します。

内容 **テーマ 妊産婦さんの心のケア**

講師 岩沼市健康増進課課長 川嶋ミヨ先生

仙台医療センター 山田幸子先生

☞お役立ち技術伝達研修 保健指導に役立つパソコンスライドの作り方  
(社)日本助産師会宮城県支部書記長 田村雪子

### (2) 性教育後の報告書の提出について

みやぎ子育て女性健康支援センター、開業助産師、病院勤務などなど、それぞれの立場から、性教育(思春期教育)に伺っているところです。助産師が地域に必要なと認められている証といえるでしょう。資質の向上に努めたいものです。

本部から、各県の状況をまとめて報告するように通達が来ております。助産師全体の評価につながることであり、助成金確保のための資料ともなるようです。

個々が、実施後に添付の報告書にて、書記長のところにご報告頂けますようよろしくお願い致します。

住所	983-0045
	仙台市宮城野区宮城野3-5 5-505
	田村 雪子 まで
FAXで可	022-257-7610

### (3) 変更届けの提出についてお願い

**勤務先、お名前、ご住所等が変更したときは、ご本人が**  
日本助産師会機関紙【助産師】巻末に挿入されている用紙で  
本部(FAX 09-3262-8933)と  
支部(支部長)(FAX 022-356-6562)まで、  
必ずお知らせ下さい。  
退会するとき、同様です。



由布院の夕焼

### (4) 日本助産師会平成17年北海道・東北ブロック研修会について

開催県の山形支部より、ご案内が届いております。機関紙ともに同封致しましたので、多くの方のご参加をお願い致します。  
**申し込み・問い合わせ先は、支部長です。**

### (5) 新会員の勧誘のお願い



(社)日本助産師会宮城県支部は、小さな団体ですが、入会している助産師は、生き生きと活動しております。ひとりひとりを大切にしたいと、役員一同考えております。

もっと会員が増えれば、もっと助産師のネットワークが広がり、もっと素敵な活動が出来るはず。どうぞ新会員さんをお誘い下さい。

支部長はじめ役員にご一報下さい。ご案内をお届けします。

現在の会員は、123名です。
----------------

## ● 編集後記 ◆

支部便り担当者が体調を崩し、サブに入っておりました者で今回の機関紙を作りました。大変遅くなったことをお詫び致します。また、素人作業で行っている機関紙でございます、誤字、脱字等大きな目でご覧頂き、ご容赦下さい。

今後とも、宮城県支部の情報交換紙として充実させて参りたいと思います。お役立ち情報や、病院情報、地域の助産師情報など、気軽にお寄せ頂けると助かります。出来ましたら、フロッピーで原稿を頂けると、ますます助かります。

また暑い日が続いております。ご自愛の程よろしくお願い致し、編集後記と致します。

発行 社団法人日本助産師会宮城県支部

〒985-0822 宮城県七ヶ浜町汐見台1丁目1-5

支部長 新田 双葉

Tel&Fax 022-357-6562

支部便り担当 松田 美由紀 田村 雪子

機関紙に関する問い合わせや投稿は、090-2982-7235

田村 雪子まで、お願いします。



### 某役員の独り言

病院勤務の方が大変なのはわかります。ますます厳しくなる周産期医療、医療事故予防への取り組み、三交代、出生数の低下 そんな中、(社)日本助産師会に入会して頂いていることに、感謝しております。

ただ、年2回の研修会にだけでも、ご参加頂けると大変嬉しいのですが、何とかありませんか。

助産師会は、勤務部のみならず、開業部、保健指導・思春期教育をメインにした保健指導部、そして、助産師会有志によるみやぎ子育て・女性健康支援センターなど、助産師ならではの活動を、社会にむかってアピールしております。

ぜひ、研修会にご参加頂いて、多くのご意見を頂ければと思います。

よろしくお願い致します。